

はじめに

本報告書は、令和6年10月23日に札幌市内の認可保育所において発生した、幼児死亡事故について検証を行うとともに、再発防止のための提言を取りまとめたものです。

この検証は、札幌市子ども・子育て会議に常設されている「児童福祉部会」の中に、保育・医学・栄養学等を専門とする臨時委員を追加した「検証ワーキンググループ」を設置して行いました。検証の過程では、ご遺族・保育施設関係者へのヒアリング調査を実施いたしました。給食提供中に児童が死亡するという非常に痛ましく、そしてあってはならない事故に際し、関係者の皆さまが深く心を痛めている中、本検証のために貴重な情報や資料・ご意見をご提供くださったことに心より感謝申し上げます。

低年齢の児童が保育施設に入所することが増加しているだけでなく、生活スタイルの多様化が進む現代において、全ての園の全ての児童の離乳の支援を安全に行うため、そして事故を二度と繰り返さないために必要なことについて、真摯に議論を重ね、提言を取りまとめました。

本報告書が、各保育施設や関係諸機関をはじめ、保育に関わる全ての人々の再発防止のための取り組み、さらには安全安心な保育のより一層の推進の一助となることを委員一同強く願っています。

令和7年8月

札幌市子ども・子育て会議児童福祉部会 検証ワーキンググループ